

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	環境園芸学科		
科目名称	異文化理解					授業形態	講義		
科目コード	531761	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員		Active・L	○
担当教員名	呉 海鍾							ICT活用	○
授業概要	<p>本授業では、異文化理解を深めるために有益な映画を題材とし、日本および海外の文化について学ぶことを目的とする。映画を通じて異文化に触れることで、異文化理解に必要な基礎的な知識を習得し、多様な価値観や文化の違いを理解する力を養う。授業では、単に映画を鑑賞するだけでなく、各作品の文化的・歴史的な背景についても学び、国内外の文化に関する基礎知識を体系的に身につけられるようにする。さらに、本授業は実務経験を有する教員が担当し、国際的な交流やビジネスの現場で求められる視点や実践的な知識を取り入れた指導を行う。これにより、映画を通じた学びにとどまらず、実際の異文化コミュニケーションに活用できる知識やスキルの習得を目指す。</p>								
関連する科目	異文化コミュニケーション論								
授業の方法と進め方	<p>授業は、講義とアクティブラーニング参加型を組み合わせた全15回の構成であり、学生には毎回の授業終了後に課題レポートや小テストなどを提出するよう求め、学習の定着とフィードバックを促進する。さらに、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを通じて、学生がトピックをより深く理解し、自己の意見を発展させる機会を提供する。トピックと関連する文献や資料を活用し、学生が自主的に学習できるようサポートする。また、学期末最終課題レポートや発表を通じて、学生の学習状況を総合的に評価する。</p> <p>毎回の授業では、教員がPCを活用してデジタル版の資料を提供し、学生の学習状況を確認するためにユニバーサルパスポートを活用する。さらに、学生はICTを使って調査し、事前に予習を行った上で授業に参加する。そして、グループワークやディスカッション、プレゼンテーション授業ではパワーポイント（PPT）を使ったKJ法などを用いたアクティブラーニングを実施する。</p>								
第1回	イントロダクション：「文化とは何か」について学び、異文化理解の重要性を深く理解する。								
第2回	<p>映画鑑賞「ボンベイ」（前半）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「ボンベイ」を鑑賞し、インドの社会や文化に関する異文化理解を深め、その内容をミニレポートにまとめる。 								
第3回	<p>映画鑑賞「ボンベイ」（後半）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「ボンベイ」を鑑賞し、インドの宗教的多様性を探求する。 ・世界の主要な宗教とそれらの特徴について学習し、宗教が文化に及ぼす影響を考察し、その結果をミニレポートにまとめる。 								
第4回	<p>日本の宗教：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の主要な宗教の特徴や影響について学ぶ。 ・日本の文化と宗教の関係を調査し、その結果をミニレポートにまとめる。 								
第5回	<p>映画鑑賞「フリーダム・ライターズ」（前半）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画を「フリーダム・ライターズ」を鑑賞し、人種問題に関する基本的な理解を深め、ミニレポートを作成する。 								
第6回	<p>映画鑑賞「フリーダム・ライターズ」（後半）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人種問題と世界史：大航海時代と人種問題の関係及び人種問題の歴史的経緯について学ぶ。 ・視聴後、社会的背景に関するミニレポートをまとめる。 								
第7回	<p>人種問題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ黒人に対する差別問題について歴史的背景を中心に学び、人種問題の複雑さを理解する。 ・レポートは、映画で描かれた人種問題に対する個人的な考えや感想を含む知識を通じて、現代社会における人種差別とその解決に向けた提案も検討する。 								
第8回	<p>映画鑑賞「くちびるに歌を」（前半）：</p> <p>映画「くちびるに歌を」を鑑賞し、障害と文化に関する基礎知識を学ぶ。</p>								
第9回	<p>映画鑑賞「くちびるに歌を」（後半） + 障害と文化：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「くちびるに歌を」を視聴し、自閉症を例に障害について学び、文化が障害に与える影響を議論し、その結果をミニレポートにまとめる。 								
第10回	<p>障害と文化：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の特性や社会的な扱いに関する理解を深め、文化が障害者との関係に与える影響を探究する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。 								
第11回	<p>映画鑑賞「海難1890」（前半）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「海難1890」を鑑賞し、日本とトルコの歴史的絆についての基本的な理解を深める。 								
第12回	<p>映画鑑賞「海難1890」（後半）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「海難1890」を鑑賞し、エルトゥールル号事件を通じて日本とトルコの歴史的関係を学ぶ。 								

	・日本とトルコの歴史的絆の中で示される文化と異文化について考察し、その結果をミニレポートにまとめる。
第13回	映画鑑賞「ラスト・サムライ」(前半) : ・映画「ラスト・サムライ」を鑑賞し、日本の武士道の基礎知識を学ぶ。
第14回	映画鑑賞「ラスト・サムライ」(後半) + 武士の起源 : ・映画「ラスト・サムライ」を鑑賞し、武士の出現と武士政治の歴史的経緯を学ぶ。 ・さらに、日本の武士の起源についても探究し、その結果をミニレポートにまとめる。
第15回	異文化間の交流と摩擦 : ・異文化理解のために視聴した映画では、それぞれの文化の間で異文化間の交流や摩擦が描かれている。これを通じて、異文化間のコミュニケーションや誤解、対立がどのように生じるかを学んだ。 ・これらをもとに、現代社会における異文化理解を克服するために大学生が果たすべき役割について議論し、発表を行う。 ・最終課題：異文化間の相互理解の促進に向けた日本の取り組み ・発表テーマ：日本における異文化理解の重要性と大学生の役割
授業の達成目標	①異文化理解のために必要な基礎的な知識を身につける。 ②多角的な視点から物事を捉えられる。 ③国内外の文化に対する理解を深める。 《到達目標：学士力》：異文化理解に必要な基礎知識を獲得し、異なる視点からの理解、異文化への尊重の態度、統合的な学習経験と創造的思考力を身につけることができる。
学修成果との関連	4.多文化・異文化に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	毎週の授業のテーマに関連する事項について、書籍や論文、またはインターネットなどを利用して調査し、関連情報を収集してから授業に臨む。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	復習は必ず毎週1時間程度行い、次の授業の時にきちんと前回の内容が理解できているようにする。
課題に対するフィードバック	課題などのフィードバックに関しては、授業毎に適宜行う。
評価方法・基準	①授業への参加度、小テスト・ミニレポート、グループワーク等(50%) ②期末課題レポートと発表(50%)で算出する。
テキスト	本授業は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら進めていく。
参考書	適宜授業で紹介する。
備考	